

令和4年度

仙台市ガス事業会計決算の大要

仙台市ガス局

令和4年度仙台市ガス事業の概況と決算の概要

1 事業の概況

本市のガス事業は、長期化する新型コロナウイルス感染症対応に加え、世界的な原料価格や物価の高騰など、厳しい社会情勢が続く中、需要家戸数とガス販売量の維持・拡大に取り組むとともに、製造・供給設備の適切な維持管理及び計画的な更新を通じ、安全で安心なガス供給体制の確保に努めました。

事業実績につきましては、年度末の需要家戸数は344,941戸（都市ガス343,445戸、プロパンガス1,496戸）と、他エネルギーとの競争や新築分譲マンションの竣工減等により、前年度に比較して366戸の減となり、また、ガスの販売量は294,987千 m^3 （都市ガス266,391千 m^3 、プロパンガス369千 m^3 、液化天然ガス28,227千 m^3 ）で、前年度と比較して2.1%の減となりました。

収支の状況につきましては、収入の面では、販売量は減少したものの、原料費調整による販売単価の上昇により、収入全体では前年度に比較して37.5%の増となりました。

一方、費用の面でも、原料価格の高騰等により売上原価が増加したため、費用全体としても前年度に比較し38.8%上昇し、この結果、差引56億4千5百万円の純利益（消費税及び地方消費税抜き）となりました。

設備投資につきましては、都市ガスの安定供給体制の確保に向け、経年管の入替えを計画的に推進したほか、整圧器等の供給設備の更新を進めるなど、総額26億7千1百万円の建設改良費を執行しました。

営業面につきましては、家庭用では、ガス機器の買換え提案を通じて、お客さまの他燃料への離脱防止に取り組むとともに、住宅メーカー等への訪問巡回により、新築・リフォーム時の都市ガス採用の拡大に努めました。また、業務用では、機器の新設や更新の時期を捉え、ガス空調等の導入提案を行うほか、お客さまのニーズに応じた営業展開に努め、新規需要の獲得や他燃料からの燃料転換に取り組みました。

以上が決算の概況であります。令和5年3月に策定した仙台市ガス事業中期経営方針に掲げる企業理念・企業使命のもと、今後とも、お客さまサービスの向上と都市ガスの安定供給に努めるとともに、事業環境の変化にも柔軟に対応できるよう民営化の取組みを引き続き進め、ガス事業がお客さまに選ばれ、地域社会の発展に貢献していくことを目指してまいります。

(1) 戸数と販売量

区 分	単 位	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	比 較	
				増減(△減)	比率(%)
需 要 家 戸 数					
一般ガス事業	戸	343,445	343,806	△ 361	99.9
簡易ガス事業	〃	1,496	1,501	△ 5	99.7
計	〃	344,941	345,307	△ 366	99.9
販 売 量					
一般ガス事業 (45MJ/m ³)	千m ³	266,391	271,572	△ 5,181	98.1
附 帯 事 業 (45MJ/m ³ 換算)	〃	28,596	29,615	△ 1,019	96.6
簡易ガス事業	〃	369	399	△ 30	92.5
(100.4652MJ/m ³)	〃	(165)	(179)	(△ 14)	
液化天然ガス販売事業	〃	28,227	29,216	△ 989	96.6
	t	(23,342)	(24,159)	(△ 817)	
計 (45MJ/m ³ 換算)	千m ³	294,987	301,187	△ 6,200	97.9
1 戸 1 ヶ 月 当 たり 使 用 量					
一般ガス事業 (45MJ/m ³)	m ³	72.7	74.1	△ 1.4	98.1
簡易ガス事業 (100.4652MJ/m ³)	〃	10.8	11.4	△ 0.6	94.7

(2) 設 備 の 現 況

区分	設 備 名	数 量 及 び 能 力		増 減 (△減)
		令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	
一 般 ガ ス 事 業	気 化 装 置			
	O R V	2基 60 t/時間	2基 60 t/時間	0 t/時間
	S M V	1基 30 〃	1基 30 〃	0 〃
	計	3基 90 〃	3基 90 〃	0 〃
ガ ス 事 業	ガ ス ホ ル ダ ー			
	球 形	7基 700,000 m ³	7基 700,000 m ³	0 m ³
	計	7基 700,000 〃	7基 700,000 〃	0 〃
導 管 事 業	導 管			
	本 支 管	4,450,539 m	4,439,140 m	11,399 m
	供 給 管	733,047 〃	726,401 〃	6,646 〃
	計	5,183,586 〃	5,165,541 〃	18,045 〃
附 帯 事 業	高 圧 装 置	16 基	16 基	0 基
	導 管	49,611 m	49,611 m	0 m

2 決算の概要

(1) 収益的収入及び支出

収 益 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額			決 算 額	増 減 (△減)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△減)	計		
事 業 収 益	44,672,825	10,060,740	54,733,565	51,784,784	△ 2,948,781
製 品 売 上	39,370,776	8,022,749	47,393,525	45,427,406	△ 1,966,119
ガ ス 売 上	39,370,776	8,022,749	47,393,525	45,427,406	△ 1,966,119
営 業 雑 益	1,957,643	12,000	1,969,643	1,197,046	△ 772,597
受 注 工 事 収 入	1,776,594	0	1,776,594	1,013,918	△ 762,676
器 具 販 売 収 入	124,291	12,000	136,291	129,692	△ 6,599
そ の 他 営 業 雑 収 益	56,758	0	56,758	53,436	△ 3,322
附 帯 事 業 収 益	2,637,024	716,968	3,353,992	3,128,677	△ 225,315
プロパン販売収入	96,011	△ 10,000	86,011	86,565	554
受 託 工 事 収 入	5,533	0	5,533	1,117	△ 4,416
器 具 販 売 収 入	692	0	692	17	△ 675
液 化 天 然 ガ ス 卸 供 給 収 入	2,534,728	726,968	3,261,696	3,040,919	△ 220,777
そ の 他 営 業 雑 収 益	60	0	60	59	△ 1
営 業 外 収 益	704,082	1,306,600	2,010,682	2,027,528	16,846
受 取 利 息 及 び 配 当 金	13,880	5,600	19,480	19,480	0
他 会 計 補 助 金	87,407	0	87,407	89,533	2,126
国 庫 補 助 金	0	1,301,000	1,301,000	1,218,524	△ 82,476
為 替 差 益	80,000	0	80,000	134,175	54,175
長 期 前 受 金 戻 入	437,791	0	437,791	447,117	9,326
雑 収 入	85,004	0	85,004	118,699	33,695
特 別 利 益	3,300	2,423	5,723	4,127	△ 1,596
固 定 資 産 売 却 益	0	2,423	2,423	2,904	481
過 年 度 損 益 修 正 益	3,300	0	3,300	1,223	△ 2,077

(注) 収益的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的収入は、当初 44,672,825千円を予定いたしました。ガス売上、国庫補助金等の増収見込みと、プロパン販売収入の減収見込みとの差引きにより、10,060,740千円を増額補正し、最終予算額は54,733,565千円となりました。

これに対する決算額は、為替差益、雑収入等の増収と、ガス売上、受注工事収入等の減収との差引きにより 51,784,784千円となり、予算額に対して 2,948,781千円の減収となりました。

収 益 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額						決 算 額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	予備費 支出額	流用増減額 (△減)	繰越額	計		
事業費	40,559,501	9,390,874	0	0	83,055	50,033,430	44,108,273	5,925,157
営業費用	35,196,766	8,925,521	0	△ 81,356	83,055	44,123,986	38,844,201	5,279,785
売上原価	23,598,752	9,017,521	0	△ 73,286	0	32,542,987	27,983,693	4,559,294
供給販売費	10,401,895	△ 103,500	0	△ 83,785	73,447	10,288,057	9,700,545	587,512
一般管理費	1,196,119	11,500	0	75,715	9,608	1,292,942	1,159,963	132,979
その他営業費用	1,872,527	12,000	0	△ 324,390	0	1,560,137	1,184,232	375,905
受注工事費	1,753,918	0	0	△ 327,246	0	1,426,672	1,069,336	357,336
器具販売費	118,609	12,000	0	2,856	0	133,465	114,896	18,569
附帯事業費	2,351,182	652,487	0	13,612	0	3,017,281	2,815,468	201,813
プロパン販売費	99,659	△ 6,000	0	13,557	0	107,216	88,612	18,604
受託工事費	5,246	0	0	0	0	5,246	1,088	4,158
器具販売費	717	0	0	0	0	717	22	695
液化天然ガス卸供給費	2,245,560	658,487	0	55	0	2,904,102	2,725,746	178,356
営業外費用	1,087,026	△ 199,134	0	389,720	0	1,277,612	1,259,959	17,653
支払利息	312,899	△ 3,475	0	0	0	309,424	302,516	6,908
為替差損	80,000	0	0	73,286	0	153,286	153,285	1
消費税及び地方消費税	688,954	△ 216,659	0	316,434	0	788,729	788,729	0
雑支出	5,173	21,000	0	0	0	26,173	15,429	10,744
特別損失	2,000	0	0	2,414	0	4,414	4,413	1
固定資産売却損	0	0	0	947	0	947	947	0
過年度損益修正損	2,000	0	0	1,467	0	3,467	3,466	1
予備費	50,000	0	0	0	0	50,000	0	50,000
予備費	50,000	0	0	0	0	50,000	0	50,000

(注) 収益的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的支出は、当初 40,559,501千円を予定いたしました。売上原価、液化天然ガス卸供給費等の増額見込みと、供給販売費、プロパン販売費等の減額見込みとの差引きにより、9,390,874千円を増額補正し、これに前年度繰越額 83,055千円を加え、最終予算額は 50,033,430千円となりました。

これに対する決算額は、売上原価、供給販売費、受注工事費等の減少により 44,108,273千円となり、不用額は 5,925,157千円となりました。

(2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額				決 算 額	増 減 (△減)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	繰越額	計		
資本的収入	3,547,339	△ 197,917	1,108,500	4,457,922	1,027,077	△ 3,430,845
企業債	3,300,000	0	1,108,500	4,408,500	1,000,000	△ 3,408,500
工事負担金	247,339	△ 199,874	0	47,465	22,741	△ 24,724
固定資産売却代金	0	1,957	0	1,957	4,336	2,379

(注) 資本的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的収入は、当初 3,547,339千円を予定いたしました。固定資産売却代金の増収見込みと、工事負担金の減収見込みとの差引きにより、197,917千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した同意済企業債1,108,500千円を加え、最終予算額は 4,457,922千円となりました。

これに対する決算額は、1,027,077千円となり、予算額に対して 3,430,845千円の減収となりました。

資 本 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当初予算額	補 正 予算額 (△減)	流 用 増減額 (△減)	繰 越 額	計			
資本的支出	7,001,047	△ 237,128	0	1,108,560	7,872,479	5,652,371	1,310,146	909,962
建設改良費	4,017,630	△ 237,128	0	1,108,560	4,889,062	2,671,262	1,310,146	907,654
製造設備	204,527	0	0	0	204,527	13,360	179,241	11,926
供給設備	3,795,834	△ 237,128	0	1,108,560	4,667,266	2,649,503	1,130,905	886,858
業務設備	11,677	0	0	0	11,677	8,399	0	3,278
附帯事業設備	5,592	0	0	0	5,592	0	0	5,592
企業債償還金	2,980,417	0	0	0	2,980,417	2,980,416	0	1
その他 資本的支出	3,000	0	0	0	3,000	693	0	2,307

(注) 資本的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的支出は、当初 7,001,047千円を予定いたしましたでしたが、建設改良費の減額見込みにより、237,128千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した建設改良費 1,108,560千円を加え、最終予算額は 7,872,479千円となりました。

これに対する決算額は 5,652,371千円となり、建設改良費 1,310,146千円を翌年度へ繰り越しましたので、不用額は 909,962千円となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 4,625,294千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 219,145千円、過年度分損益勘定留保資金 1,425,733千円及び減債積立金 2,980,416千円で補てんいたしました。

(3) 損益計算書

比較損益計算書

(単位 千円)

費用の部				収益の部			
科目	令和4年度	令和3年度	増減(△減)	科目	令和4年度	令和3年度	増減(△減)
営業費用	37,257,650	26,808,726	10,448,924	製品売上	41,312,042	30,722,900	10,589,142
その他営業費用	1,076,426	1,011,379	65,047	営業雑益	1,088,704	1,077,221	11,483
附帯事業費	2,812,193	1,793,549	1,018,644	附帯事業収益	2,844,259	1,807,435	1,036,824
営業外費用	474,626	378,497	96,129	営業外収益	2,021,804	781,174	1,240,630
特別損失	4,350	502	3,848	特別利益	3,811	684	3,127
小計	41,625,245	29,992,653	11,632,592	小計	47,270,620	34,389,414	12,881,206
当年度純利益	5,645,375	4,396,761	1,248,614	当年度純損失	—	—	—
計	47,270,620	34,389,414	12,881,206	計	47,270,620	34,389,414	12,881,206

(注) 損益計算書は消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 47,270,620千円で、前年度に比べ 12,881,206千円の増収となりました。これは製品売上 10,589,142千円、国庫補助金等の営業外収益 1,240,630千円、液化天然ガス卸供給収入等の附帯事業収益 1,036,824千円、器具販売収入等の営業雑益 11,483千円、固定資産売却益等の特別利益 3,127千円の増加によるものです。

また、総費用は 41,625,245千円で、前年度に比べ 11,632,592千円の増加となりました。これは売上原価等の営業費用 10,448,924千円、液化天然ガス卸供給費等の附帯事業費 1,018,644千円、為替差損等の営業外費用 96,129千円、受注工事費等のその他営業費用 65,047千円、過年度損益修正損等の特別損失 3,848千円の増加によるものです。

以上により、当年度は 5,645,375千円の純利益となりました。

(4) 剰余金計算書及び剰余金処分計算書(案)

資本剰余金については、当年度の増減はありませんでしたので、当年度末残高は 289,492千円となりました。

利益剰余金については、前年度末残高が 3,941,748千円でありましたが、当年度純利益 5,645,375千円が生じたことにより、当年度末残高は 9,587,123千円となりました。

当年度末処分利益剰余金 8,625,791千円については、2,980,416千円を資本金に組み入れ、1,695,201千円を減債積立金に、3,950,174千円を建設改良積立金に積み立ていたします。

(5) 貸借対照表

比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区 分 科 目	令和4年度	令和3年度	増 減(△減)	区 分 科 目	令和4年度	令和3年度	増 減(△減)
固定資産	42,567,325	43,385,023	△ 817,698	固定負債	27,415,661	28,992,802	△ 1,577,141
流動資産	19,166,559	14,768,230	4,398,329	流動負債	7,607,845	7,669,649	△ 61,804
				繰延収益	2,358,702	2,784,501	△ 425,799
				資本金	14,475,061	14,475,061	0
				剰余金	9,876,615	4,231,240	5,645,375
計	61,733,884	58,153,253	3,580,631	計	61,733,884	58,153,253	3,580,631

(注) 貸借対照表は消費税及び地方消費税抜きの額である。

固定資産については、有形固定資産が、減価償却費の計上等により 780,314千円減少いたしました。無形固定資産は、共同溝施設利用権が 37,384千円減少いたしました。これにより、固定資産は 817,698千円減少いたしました。

流動資産については、現金及び預金 1,634,287千円、売掛金 762,381千円、未収金 727,124千円、製品 13,749千円、原料 1,164,092千円、貯蔵品 36,273千円、その他流動資産 60,676千円の増加に対し、前払費用 253千円の減少により、差引き 4,398,329千円の増加となりました。

固定負債については、リース債務 114,764千円の増加に対し、企業債 1,656,533千円、引当金 35,372千円の減少により、差引き 1,577,141千円の減少となりました。

流動負債については、リース債務 7,008千円、買掛金 488,538千円、前受金 71,778千円の増加に対し、企業債 323,883千円、未払金 301,009千円、未払費用 1,305千円、預り金 1,428千円、引当金 1,503千円の減少により、差引き 61,804千円の減少となりました。

繰延収益については、長期前受金の減少により、425,799千円の減少となりました。

剰余金については、当年度純利益の計上により、5,645,375千円の増加となりました。

なお、令和4年度末における用地の内訳は、別表のとおりです。

以上が令和4年度仙台市ガス事業会計決算の概要であります。

用 地 内 訳 表

令和5年3月31日現在

区 分	所 在	面積(m ²)	帳簿価額(千円)	使用目的
工場用地	仙台市宮城野区港四丁目13-2 外1	97,119	2,292,808	港 工 場
	小 計	97,119	2,292,808	
事務所用地	仙台市宮城野区幸町五丁目1-12 外1	41,974	884,812	供 給 管 理 棟
	仙台市青葉区中央二丁目10-3	1,822	1,678,307	シ ョ ー ル ー ム
	仙台市太白区西中田五丁目16-11	1,146	44,372	西 中 田 サ ー ビ ス セ ン タ ー
	仙台市泉区将監八丁目1-135 外1	1,231	11,212	将 監 サ ー ビ ス セ ン タ ー
	仙台市宮城野区幸町三丁目101-5	10,990	1,676,049	幸 町 三 丁 目 倉 庫
	小 計	57,163	4,294,752	
施設用地	仙台市青葉区 小田原八丁目328-1 外150	17,737	817,258	整 圧 器 設 置 等
	多賀城市新田字下河原16-7 外16	1,039	23,621	ガ ス 管 橋 施 設
	仙台市太白区茂庭字生出前24-23 外3	5,595	71,371	茂 庭 供 給 所
	仙台市泉区根白石字銅谷堤下13 外7	3,996	51,165	泉 供 給 所
	多賀城市栄四丁目341-1 外5	46,697	223,217	多 賀 城 供 給 所
	小 計	75,064	1,186,632	
その他用地	仙台市宮城野区扇町六丁目4-5 外4	8,406	643,878	
	仙台市泉区根白石字銅谷明神下13-2 外5	8,143	121,261	
	名取市愛島小豆島字島東66 外2	20,041	23,158	
	仙台市青葉区上愛子字五ッ森12	15,760	5,341	
	富谷市ひより台一丁目42-1 外11	2,879	133,998	
	小 計	55,229	927,636	
計		284,575	8,701,828	